



埼玉と世界をつなぐ

Friendship News

No.140 / 2024年度春号

フレインドシップニュース



▲外国人留学生とこどもの交流イベント@KiraccoAmi児童クラブ(P.7)

Contents

- 特集：大規模災害が起こったら …P.2-3
- 「埼玉発世界行き」奨学金 2025年度募集開始 …P.4
- シリーズ 世界の国からこんにちは ～ルクセンブルク～ …P.5
- JICA埼玉デスクからのお知らせ …P.6
世界食べ物探検 ～バニラキプフェル～
- 外国人総合相談センター埼玉のご案内 …P.7
グローバル人材育成センター埼玉
外国人留学生とこどもの交流イベントレポート



公益財団法人
埼玉県国際交流協会
Saitama International Association



特集：大規模災害が起こったら

埼玉県災害時多言語情報センターとは？

みなさんは「埼玉県災害時多言語情報センター」を知っていますか？
このセンターは、地震や台風などの大きな災害が起きたときに、外国人住民・旅行者の方々が安心して避難やその後の生活を送れるようにするための情報を提供する場所です。今回は、このセンターの役割や活動についてお伝えします。



阪神・淡路大震災をきっかけにはじまった支援の輪

平成7年の阪神・淡路大震災は、6,000人以上の命を奪った大災害でした。
このとき、外国人も多くの方が亡くなり、また、被災した外国人住民への支援が十分に行き届かず、言葉の壁が原因で避難所や物資の配布などの情報が伝わらない問題が浮き彫りになりました。この経験をきっかけに、災害時の外国人支援の仕組みが生まれました。この仕組みは、現在では「災害多言語支援センター（※1）」という名前で全国に広がっています。
災害多言語支援センターは、大きな災害が起きたとき、英語や中国語など多言語で災害情報を発信し、外国人住民が避難所で安心して過ごせる環境を作ります。行政や国際交流団体、ボランティアが協力するこの仕組みは、外国人だけでなく地域全体の安心を支える取り組みとなっています。



埼玉県国際交流協会は、埼玉県で大きな災害が発生し、外国人に対する多言語支援が必要となったときに、県の要請を受けて「災害時多言語情報センター」を開設します。

※1「災害多言語支援センター」は（一財）自治体国際化協会が作成する「防災・減災のための多言語支援の手引き2023」で用いられている通称です。地域によって名称や担う役割は異なります。

◀写真提供：神戸市（阪神淡路大震災の時の様子）

災害時に設置される災害時多言語情報センター

「埼玉県災害時多言語情報センター」は、外国人の方々に、避難情報や避難生活に必要な情報を英語、中国語、韓国語、スペイン語など、さまざまな言語で伝えます。

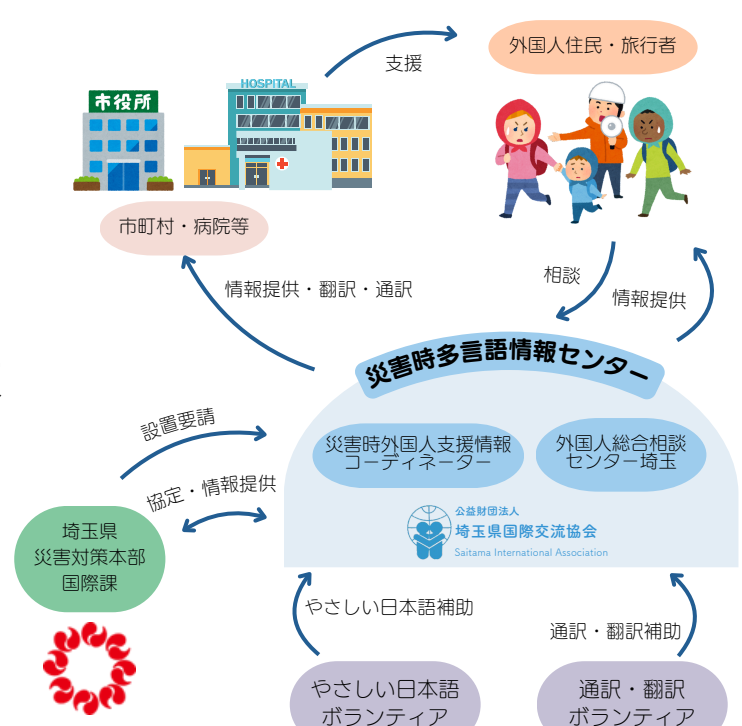
災害時には、日本語がわからず困ってしまう外国人住民も少なくありません。このセンターは、そうした方々に安心して避難生活を送ってもらえるようサポートする重要な役割を果たしているのです。

毎年行われるシミュレーション訓練

埼玉県災害時多言語情報センターでは、実際の災害時に備えて、毎年訓練を行っています。この訓練は、平成28年から行われており、埼玉県や県内の市町村、地域の国際交流協会、そして協会に登録の通訳ボランティアの方々が協力して実施しています。

訓練では、どのように災害情報を外国語に翻訳するか、情報をどのように届けるかを訓練します。こうした訓練を繰り返し、実際の災害時にスムーズに対応することを目指しています。

設置イメージ図



災害時多言語情報センターのスタッフで対応しきれない場合は、ボランティアに協力を要請

通訳・翻訳ボランティアの活躍

埼玉県災害時多言語情報センターでは、埼玉県国際交流協会に登録している通訳・翻訳ボランティアも重要な役割を果たします。避難所にいる外国人住民と避難所職員等の間で通訳をするなどの橋渡しをします。

このセンターの活動は、避難所にいる外国人住民だけでなく、避難所で生活するすべての人の安心につながっています。外国人が必要な情報をしっかり受け取れるようになることで、避難所全体がスムーズに運営され、みんなが安心して助け合える環境が作られます。言葉の壁を越えた支援は、災害時に地域全体の絆を強くする大切な取り組みなのです。



通訳・翻訳ボランティアを募集しています！

災害時に限らず、協会では、埼玉県内の病院や学校等、公的機関からの依頼による通訳・翻訳ボランティアの紹介と派遣を行っています。

ご自身の語学力を生かし、通訳・翻訳ボランティアとして多文化共生の社会づくりをサポートしませんか？
関心のある方は、お気軽にお問い合わせください。

<https://sia1.jp/residents/volunteer/>



特に、ベトナム語・ネパール語・ウルドゥー語・トルコ語・ミャンマー語・ベンガル語等の依頼が増えています！

外国語が話せなくてもできること

災害時の外国人支援について、「私は外国語が話せないから無理」と思う人もいるかもしれませんが、心配しないでください。「やさしい日本語」を使えば、誰でも外国人の助けになることができます。

やさしい日本語とは、普段よりわかりやすく、伝わりやすい日本語のことです。埼玉県の調査では、埼玉で暮らす外国人の約9割が「ゆっくり、簡単な言葉で」話せば、日本語で会話が出来ると回答しています（令和5年度埼玉県外国人住民意識調査）。

例えば、「高台に避難」という言葉を「たかいところへにげて」などと言い換えたり、ジェスチャーを使ったりするだけでも役に立ちます。

なお、やさしい日本語は、外国人だけでなく、高齢者や小さいお子さんにも有効だと言われています。



在留支援のためのやさしい日本語について、入管庁と文化庁がガイドライン（冊子、動画）を出しています。

https://www.moj.go.jp/isa/support/portal/plainjapanese_guideline.html
<https://youtu.be/X8KMUA8zWgo?si=VFcc9eLxOFyWA2ha>

埼玉県のウェブサイトでもやさしい日本語のページを作っています。ぜひご利用ください。

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0306/yasashi-nihongo/index2024.html>

入管庁HP



Youtube



埼玉県HP





「埼玉発世界行き」 奨学金

2025年度奨学生の募集がはじまります！

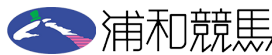
「埼玉発世界行き」奨学金は、平成23年度に県が制度をスタートさせてから14年が経ち、現在は埼玉県国際交流協会が運営しています。これまでに2,300名以上の若者が目標と志を持って海外に飛び立ちました。

地方公共団体に関わる奨学金制度としては最大規模のもので、奨学生からは、「他県に住む友達に羨ましがられた」という話もよく聞きます。円安や物価高の現在、ご家庭やアルバイトだけで留学資金を工面するのは本当に大変です。そんな中でも留学を諦めない学生の皆さんにとって「埼玉発世界行き」奨学金はますます必要性が高まっていると感じています。

2025年度に向けては、**3月17日（月）**から奨学生の募集をスタートします。今年は県の補助金による一般奨学金および県に縁のある企業・団体、個人の方からのご寄附による冠奨学金を設置し、100名以上の奨学生を埼玉から世界へ送り出す予定です。詳しくはグローバル人材育成センター埼玉のホームページで募集要項をご確認いただき、ふるってご応募ください。



2025年度冠奨学金を設置してくださる企業・団体、個人の皆様



井口敬子様御遺族



(敬称略)



グローバル人材育成センター埼玉 HPはこちら▶

Saitama Center for Go Global Students

<https://www.ggsaitama.jp/for-japanese/studying-abroad/>



ルクセンブルク編



「暮らす」目線で見ると知る海外。埼玉県にゆかりがあり、海外で活躍されている方から、その国のことを紹介いただく本シリーズ。今回は、「埼玉発世界行き」奨学生として、ルクセンブルク大公国唯一の大学、ルクセンブルク大学に留学された赤石さん・小池さんにお話を伺いました。

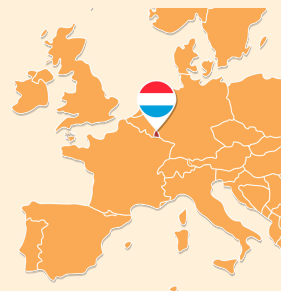
※お二人に頂いた原稿をもとに、協会事務局で編集しています。



赤石 凌仁さん（文中：あ）



小池 咲貴子さん（文中：こ）



ルクセンブルクってどんな国？

こ：ベルギー、フランス、ドイツに囲まれたヨーロッパの内陸国で、面積は神奈川県程度の国です。

あ：多くの方が「ドイツの街だよ」という認識をお持ちかと思いますが、国家です！人口約70万人で、1人当たりGDPが世界1位で有名な国です。言ってしまえば、世界一お金持ちの国です。

また、「森と渓谷の国」「北のジブラルタル」と呼ばれることもあります。旧市街が世界遺産に登録されており、中心部においても自然と街が一体化しています！

Google Mapでルクセンブルクの位置を確認してもらおうと分かりますが、ヨーロッパの中心にあり各国へのアクセスが非常に良いです。私も勉学に励みながらルクセンブルクを含め11カ国訪れることができました！

ことば

こ：公用語はドイツ語・フランス語・ルクセンブルク語の3言語です。といってもすべての地域で全ての言語が同様に使われているわけではなく、フランス寄りの地方ではフランス語、ドイツ寄りの地方では主にドイツ語が話されています。そのため道端の看板の言語が地方によって変化します！

あ：この国の特徴は、多言語・多文化共生社会ということです。大学のオリエンテーションで学生たちが一堂に会した際には、「何言語話せるか」という問いに対して4~5言語と答えた学生がほとんどでした！

”Be multilingual”(多言語話者であれ)と大きくスライドに書いてあったのを鮮明に覚えています。

人々

こ：ルクセンブルク人は生活の中で外国人と接する機会が多いため、言語や文化の違いに関してとても寛容です。幼いころから様々な言語に触れる機会が多いことで、他の言語を習得する際の心理的な壁も低いようです。

ルクセンブルクではなんと人口の45.3パーセントを外国人居住者が占めています。ルクセンブルク大学でも学生の半数は外国人です。私は大学の寮に住んでいましたが、フラットメイトの出身地もシンガポール、エジプト、フランス、トルコなど非常に国際色豊かでした。

あ：この国のモットーは、”We want to remain what we are”(我々はありのままの姿でいたい)です。これは、この国の歴史をたどると見えてきます。かつて大国に支配され、隣国からの侵攻を受けたこともあるがゆえに今では他のどの国とも違う自分たちのありのままの姿でいたい、そのような想いがあります。



▲郷土料理ボーネシュルupp : 小池さん提供

物価

あ：この国での暮らしで最も顕著なのが物価です。1人当たりGDPが世界一位である分、同じユーロ圏である隣国のドイツやフランスに比べると物価は本当に高いです。外食をすると、2,000円はあっという間に超えてしまいます。

日本のように気軽に外食をすることはできないので、基本的に留学中は自炊をしていました。ただ、ALDIやLidlというディスカウントスーパーがあるので高いとはいえ工夫をすれば問題ないです！



▲“Restopolis”のランチ：赤石さん提供

また、ルクセンブルク大学には国の教育機関が運営しているいわゆる学食“Restopolis”があります。学生証があれば4€程度でとても美味しいランチをいただくことができます。正直、めっちゃお得です。これが4€とは思えません。

交通事情

こ：国内ではトラム、バス、電車などの公共交通機関をすべて無料で利用することができます。mobilité.luという公式アプリもあり、ダウンロードすると目的地までの経路や遅延情報などを簡単に確認することができます。



▲旧市街：赤石さん提供

ルクセンブルクとEU法の関係

こ：ルクセンブルクは欧州司法裁判所（ECJ）があることでも有名です。

私は日本では法学部に所属しており、特に国際法・EU法に興味があったため、欧州司法裁判所があるルクセンブルクを留学の第一希望としました。

ECJはEUの基本条約や法律との整合性、解釈等について審査や助言を行う場所で、法の尊重を行うことを裁判所の任務としています（EU条約19条）。EUには公用語が24言語あり、原則的に全て等しく扱われています。

そのため、裁判所内でも公用語を自由に選択することができ、同じ法廷でも人によって話す言葉が異なることがよくあります。全ての裁判で同時通訳が行われており、通訳の方々は4か国語以上話せることも珍しくありません。

ルクセンブルクは小さく知名度も日本では高くありませんが、治安がよく町並みも綺麗でとてもいい国です。皆さんもぜひこの機会にルクセンブルクを訪れてみてください！



▲欧州司法裁判所（ECJ） : 小池さん提供

JICA埼玉デスク からのお知らせ

Kumsta ka? クムスタカ?

Maayo man! マーヨマン!

(ヴィサヤ語*で「お元気ですか」「元気です」)

*フィリピンのセブ島などで話されている言葉

JICA東京 埼玉デスクの高橋です。今回はお知らせが二つあります!

お知らせ①

「埼玉親善大使」をご存じですか? JICA海外協力隊は埼玉県から「埼玉親善大使」を委嘱され、埼玉県と派遣国との懸け橋として友好交流の推進をしています。派遣国の生活や活動はレポートを通じて情報発信しております。

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0306/saitamashinzentaishireport.html>

▼埼玉県HP



お知らせ②

JICA海外協力隊の春募集が3月21日から始まります。

この事業は1965年に始まってから今年で60周年を迎えましたが、当初から変わらない「現地とともに」という姿勢で開発途上国の課題解決に取り組んでいます。ご興味がございましたら、ホームページをご覧ください。

<https://www.jica.go.jp/volunteer/>

▼JICA HP



人生なんてきっかけひとつ。



いつか世界を変える力になる

JICA
海外協力隊

春募集 応募期間 03/21 ▶ 05/09

詳しくは「JICA海外協力隊」で検索
応募書類ダウンロードは「JICA海外協力隊」から
JICA海外協力隊の募集要項は「JICA海外協力隊」に掲載されています。



GrüB Gott! ※

世界食べ物探検 オーストリアを探検しよう!



スロバキア生まれ、オーストリア育ち、埼玉在住の小池ズザナです。オーストリアの伝統的なお菓子「お月様クッキー」、ドイツ語でバニラキプフェル(Vanille Kipferl)にまつわる物語と、レシピを紹介します。



※グリュース・ゴット!
ドイツ語で「こんにちは」



～お月様クッキーの物語～

お月様クッキーが初めて作られたのは、第2次ウィーン包囲でヨーロッパ諸国がオスマン帝国の軍隊を破った戦勝祝いのときだと伝えられています。月はトルコの象徴だからです。

1683年の9月12日に、ヨーロッパからウィーンの町に集められた僅か2万人の軍隊が12万人の強いオスマン帝国軍を倒しました。このとき、ウィーンは2ヶ月も包囲されていました。食べ物が尽きそうになったとき、ポーランド王ヨハネ3世ソビエスキーが将軍となり、軍隊をキリストの母、聖母マリアにささげました。賢い動きでオスマン帝国軍を弱い所から叩き、たった1日で撃退することができました。オスマン帝国軍が見上げると、聖母マリアが軍隊の先頭に立っていたと言われています。この話は新約聖書『ヨハネの黙示録』にちなんでいます。

「天に大きなしるしが現れた。一人の女が身に太陽をまとい、月を足の下にし、頭に十二の星の冠をかぶっていた。」(12章1節)

悪霊は主キリストとは戦おうとするが、聖母マリアからは逃げると言われています。キリスト教において、マリアさまは、神さまではなく只の人間ですが、罪がなく、つつましい方です。悪霊に取りつかれた人は、マリアさまを見ると、悪いことをしなくなるそうです。世界中で戦いが起きているこの時代においても、マリアさまは、皆を一つに結び付けてくださると言われています。誰一人勝者にも敗者にもならず、キリストの平和を広げる役割があるのだそうです。

オスマン帝国軍が逃げた後、貴重な文化を残していきました。野営テントに、コーヒーが見つかったのです。それが、ウィーンの有名な高級喫茶店につながりました。オーストリア人が大好きなシュトルーデル(小麦粉の生地に着せやレーズンなどの具をなると状に巻いた焼き菓子)も、トルコ人が作っていた生地から作られているそうです。

フランスのクロワッサンはご存知ですか? クロワッサンは、ウィーン出身のマリー・アントワネットがパリに持ってきたお月様クッキーを元にした最高に美味しいパンです。世界は今でも、母の愛で包まれていると感じます。



レシピ

お月様クッキー(Vanille Kipferl)

材料

A

- 小麦粉 250g
- バター 200g
- 粉砂糖 70g
- アーモンド粉かヘーゼルナッツ粉 100g

B

- 焼き上がったクッキーにまぶすバニラ粉砂糖 300g
- ※バニラビーンズを縦長に切って、真ん中に切り口を入れ、中身を取り出し、粉砂糖とまぜ、残りのビーンズを入れて、1週間おく。

作り方

- Aを混ぜる。生地をこねて、手にべた付いたら、小麦粉を足す。手につかなくなったら生地を大きな棒にして、ラップで包んで、1時間冷蔵庫に寝かす。



- 生地を冷蔵庫から出し、ナイフで薄くスライスし、両方の手の平で小さな棒を作る。お月様のように曲げ、鉄板の上にスペースを空けながら置く。焼く時、ちょっとふくらむから、くっつかないように気をつけましょう!

- 130度で20分~30分オーブンで焼く。焼いたら取り出して、少し冷まし、バニラ粉砂糖を入れたスプ皿の中でコロコロまぶす。

- 日持ちは3ヶ月まで!
保存食にもなります。オーストリア人は包囲中も作っていたかな。

FREE
相談
無料

さいたまけん がいこくじん かた そうだんまどぐち あんない
埼玉県の外国人の方へ 相談窓口のご案内

こまったことがあったら電話してください！

がいこくじん そうごう そうだん センター - さいたま
外国人総合相談センター埼玉

がいこくご そうだん
外国語で相談ができます。

せいかつ しごと ざいりゅうしかく ほうりつ そうだん
生活、仕事、在留資格、法律などのなやみを相談
できます。

がっこう びょういん はな でんわ つうやく
学校や病院で話すとき、電話で通訳をします。

げつ び きん び
月曜日～金曜日 9:00～16:00 にやっています。

しゅくじつ 12/29～1/3 は やす
祝日と12/29～1/3は休みです。

TEL 048-833-3296

FAX 048-833-3600

MAIL sodan@sia1.jp



TEL 048-833-3296

げつ び きん び
月曜日～金曜日 9:00AM～4:00PM



- 13の言葉で生活の相談ができます。
- 入管労働法律福祉については
専門家に相談できます。



<https://sia1.jp/foreign/advice/>

そうだんできることば

English(英語)・Español(スペイン語)・中文(中国語)
Português(ポルトガル語)・한국・조선어(韓国・朝鮮語)・
Tagalog(タガログ語)・ภาษาไทย(タイ語)・Tiếng việt(ベトナム語)
・Bahasa Indonesia(インドネシア語)・नेपाली(ネパール語)
・Русский(ロシア語)・український(ウクライナ語)
・やさしいにほんご

GGGS

グローバル人材育成センター埼玉
Saitama Center for Go Global Students

レポート

外国人留学生とこどもの交流イベント

グローバル人材育成センター埼玉 (GGGS)
では、県内の外国人留学生とこども達との
交流事業をコーディネートしています。



こども食堂や児童館などへ県内大学に在籍する外国人留学生が訪問し、母国の文化紹介を通してこどもたちとの交流を行っています。今回は、KiraccoAmi児童クラブ（所沢市）を訪問した際の様子をご紹介します。

明るく元気なこどもたち約20名に歓迎され、温かい雰囲気の中、交流イベントが始まりました。埼玉大学の留学生、プハーティ ラフルさん（インド出身）からは、母国の有名な建物や食べ物などの紹介に加え、ヨガのポーズやインドのダンスの振り付けを教えてもらいました。こどもたちは見よう見まねで身体を動かし、積極的に参加してくれました。その後、みんなで近くの公園に行き、インドの外遊び（日本の“鬼ごっこ”と同じ）で思いっきり遊んで、最後に、こどもたちから留学生にプレゼント（手作りのストラップやお手紙）を贈って解散となりました。英語を話す留学生に、こどもたちが積極的に話しかけて交流しようとする様子を見てとても感心しました。

児童クラブのスタッフの声

Q1. 当事業に参加した理由を教えてください。

- 島国で過ごす日本人は考えが偏っていると感じています。こどもたちに自分の身の回りで起きていることが「当たり前ではない」ということを知ってほしいです。留学生との交流などを通じて色々な文化や考え方に触れ、生きる力を身につけてほしいと思います。
- 児童クラブでの活動を通じて、学校や家ではなかなかできない体験ができる良い機会だと思います。自発的な興味ではなくても知らない世界を知ることができることも、児童期に得られる経験としてとても貴重に感じます。

Q2. 外国人留学生が活動に参加した感想を教えてください。

- はじめは「その国のことを知りたい」だったのが、交流を通して「その人を知りたい」に自然に移り変わっていくこどもたちの気持ちが、留学生の方々の気持ちとマッチしている感じがしています。お互いに嬉しい気持ちで満たされて終わる時間をいただいています。
- 実際に外に出て知らない国の遊びをやってみたり、金貨に触れてみたりすると、大人の目線でも「すごい！」「知れるっておもしろい！」と思うことが多いです。交流イベントの事前準備では「日本のこういう部分を知ってほしい」と児童がオリジナルストラップを作ったり、交流後には教えてもらった国のあいさつなどを口にする場面を見かけたりと、当日以外でもいい影響をいただいていると感じています。

今年度も多くの「こどもの居場所づくり活動実施団体」等の方々と外国人留学生の皆さんにたくさん交流を楽しんでいただきました。ご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。今後も、このような交流の機会を持ちたいと思います。

賛助会員(個人・団体)募集のご案内

会員特典

公益財団法人埼玉県国際交流協会では、協会の活動にご理解、ご協力をいただくため、賛助会員制度を設けています。趣旨にご賛同いただける方は、ぜひ、ご加入ください。

個人会員

埼玉県内在住・在勤の個人(年会費 2,000円(一口))

学生会員

埼玉県内在住・在学の学生・生徒(年会費 500円(一口))

団体会員

埼玉県内に所在する企業・団体(年会費 10,000円(一口))
NGO会員は年会費 3,000円(一口)

- 1.協会情報紙「フレンドシップニュース」の定期購読(郵送)
- 2.協会主催事業のご案内を送付
- 3.国際交流プラザ研修講座室の利用
- 4.協会が運営するクイックフォトスタジオ(大宮・川越・川口・春日部)における各種証明写真撮影料金の割引
- 5.パレスホテル大宮、浦和椿山荘でのお食事や埼玉県物産観光館「そびあ」でのお買い物の割引、その他指定店での海外旅行用品、国内外旅行企画商品、ホテル利用料金などの割引

申込方法

電話または電子メールで協会までご連絡ください。申込に必要な資料をお送りします。



大宮・川越・川口・春日部 県内4か所
パスポートセンター隣接

5年・10年長く使うものだからこそ、
専属スタッフによる信頼・安心の写真撮影!
詳細は二次元コードからご覧ください。



パスポート・マイナンバーカードの
各種証明写真はクイックフォトスタジオで!

クイックフォトスタジオに
パンフレットを設置しませんか?

クイックフォトスタジオ各店舗には、海外へ渡航するお客様の利便を図るためにパンフレット棚を設置しています。
お土産、クレジットカード、保険のパンフレット等々、手に取ってもらえるチャンスです。
ぜひパンフレット棚を利用してみませんか?
詳細については、協会までお問い合わせください。

公式SNS
更新中!



Facebook



X(旧Twitter)



LINE

年に4回発行のFriendship Newsではお伝えしきれない協会の最新情報は、協会のHPとSNSで随時更新しています。ぜひご覧ください。

フォロー・リポスト・シェア・いいね
お願いします!



本庄高校作成のNGO活動紹介動画を公開しました!

埼玉県国際交流協会では、県内で草の根の国際交流・協力活動をしているNGO等団体の皆様の成果を発表する場として、「国際フェア」を開催しています。2024年10月27日に開催した「国際フェア」の紹介動画を、当日ボランティアとして参加した埼玉県立本庄高校放送部の有志メンバーが作成しました。右記の二次元コードからYoutubeにアクセスしてご覧ください。



広告掲載について

本誌(フレンドシップニュース)は、令和6年度は年4回・各回3,500部を発行しました。県内NGOやボランティア団体、企業様その他、県内自治体・大学・図書館・全国の地域国際化協会など、国際交流に関心のある幅広い層にお届けしています。

本紙への広告掲載をご検討ください。ご関心のある団体・企業様は、協会までお気軽にお問い合わせください。

フレンドシップニュース 2024年度 春号 (2025年3月発行)

公益財団法人 埼玉県国際交流協会 Saitama International Association

〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和5-6-5 埼玉県浦和合同庁舎3階

☎TEL: 048-833-2992 / FAX: 048-833-3291 / ✉Eメール: sia@sia1.jp

WEB: <https://sia1.jp/> 本誌バックナンバーはこちらから➡ <https://sia1.jp/t-pu-f/>

